運営推進会議開催報告書

グループホームねこの手

開催日時　2023年9月21日（木）　13:30～14:20	
	議　題
利用者　0人 利用者家族　1人 地域住民の代表者(民生委員を含む)　2人 市高齢者福祉課職員　1人 地域包括支援センター職員　1人 薬剤師（みゆきファーマシー）　1人 事業所　3人	1.利用者様の状況、活動及び行事報告 2.身体拘束について 3.その他

会　議　録

1、利用者様の状況、活動及び行事報告

7月　登録者数　・・・　9名　（男性　2名・女性　7名）
介護度平均及び介護度別利用者数は別紙参照
施設内レク：黒の画用紙に光沢のある色紙を切って貼り、花火の飾りを作りました。
7/14、7月の誕生日会を行いました。ご本人のリクエストでお好み焼きをホットプレートで作りました。皆さんおかわりの2枚目も完食でした。
7/24、スイカの差し入れがあり、夏を感じながら美味しくいただきました。

8月　登録者数　・・・　9名　（男性　2名・女性　7名）
介護度平均及び介護度別利用者数は別紙参照
施設内レク：脳トレとして、家族の名前や生まれたふるさと、好きな食べ物をプリントに書いてもらい、順に読み上げて発表してもらいました。皆さん思い出しながら集中して文字を書いている姿が印象的でした。
8/19、窓から宝生寺の花火を鑑賞。

日常的なレクとしては、
絵本の読み聴かせや、入居者様にも朗読してもらったりしています。とても感情を込めて上手に読んでくださいます。聴く側も頷いたり笑ったりしながら過ごせています。ゴムボールを投げ合ったり、足でキックするレクも行いました。体操や歌のレクも行っています。

2、身体拘束について

現在入居者で身体拘束を実施している方はおらず経過しています。

事例　要介護3　女性
歩行が不安定であるが、ホール内を歩いて回られることが多い。身体に傾きがあり転倒もあった。動かれる際はトイレ誘導をしてみたり、声掛けや見守りで対応しているが、会話での意思疎通が困難な為、危険であることが伝わらない。危険がなければなるべく制止せず、自由に動いていただけるよう努めている。

参加者からの質問ご意見

・想、有料イチバ入居者様（車椅子）の例→常時の見守りは難しく転倒が多かった。家族としては拘束帯を使用することで転倒や怪我の心配が少なくなる方を望まれる。
・入居時より内服薬の変更はなし。身体の傾きについては、薬の影響より筋肉等身体的な要因があるのでは・・・。薬で行動を抑えようとすると生活の自由度は奪われる。
・在宅でも、転倒の為に寝たきりになってしまうケースは多い。十分な見守りは難しい。
家族と密に話し合っておくことが大切。
・他にも同じように、動かれると転倒のリスクがある方はいるのか？→数人いらっしゃる。全体的に重度化している。
・家族の立場としては、転倒の可能性を事前にきちんと伝えてほしいと思う。
・歩行器を使用したらどうか？→普段から介護拒否あり、歩行器の認識もできないと思う。

次回開催予定 令和5年11月30日（木） 13:30～